

令和6年度保育所入所待機児童の状況調査（集計結果）

調査対象数： 52 回答数： 44 回答率： 84.6%

うち電子申請 39
うち電話聞き取り 5

調査依頼日：令和6年3月28日

設問1. 4月1日時点のお子様の保育状況について

回答数	項目
27	保護者がみている ⇒設問2へ
0	祖父母、親戚、知人に預けている
17	認可外保育施設等の保育サービスを利用している
0	その他

※複数回答あり

設問2. 設問1において「保護者がみている」場合の保護者の状況について

回答数		項目
父	母	
0	2	仕事をしながらみている（自営・内職・職場同伴・その他）
0	1	就業形態を変更し対応している（勤務日数・時間などを変更）
0	13	育児休業中（育児休業期間を切り上げて復職の希望あり）
0	0	育児休業中（育児休業期間を切り上げて復職の希望なし）
0	0	育児休業中（育児休業期間を切り上げて復職の希望：回答なし）
0	0	就労内定中
0	6	仕方なく求職活動を断念した
0	4	引き続き求職活動中
0	0	就学中
0	0	産前産後休暇中
0	0	疾病等により自宅療養中
0	1	退職した
0	1	その他（休職中）

※複数回答あり

設問3. 設問1において「認可外保育施設等の保育サービスを利用している」場合の預け先について

回答数	項目
5	認証保育所
1	家庭福祉員
0	勤務先の託児施設
0	その他保育室
2	一時保育
2	ベビーシッター
3	幼稚園
4	その他（認可外保育施設）

※複数回答あり

※調査日時点で認証保育所等を利用していることが確認できている方には、本調査を実施していません。

設問4. 不承諾通知をお送りした際の空き施設について、希望園に追加されなかった理由に

ついて

※令和6年1月22日時点の歳児別空き施設

0歳児 藤塚保育園2名、駒井保育園1名、駄倉保育園4名、多摩川保育園3名、
 狛江保育園5名、狛江子どもの家3名、めぐみの森保育園1名、いずみ保育園4名、
 グローバルキッズ狛江園4名、いずみの森保育園1名、木下の保育園元和泉7名、
 木下の保育園岩戸北6名、一の橋赤ちゃんの家2名、狛江すずらん保育園2名
 1歳児 一の橋赤ちゃんの家1名、フレンドキッズランドこまえ1名
 2歳児 ヤクルト狛江あいあい保育園1名
 3歳児 藤塚保育園2名、多摩川保育園3名、狛江子どもの家1名、駒井町みんなの家13名
 4歳児 藤塚保育園2名、多摩川保育園1名、東野川保育園みんなの家1名
 5歳児 藤塚保育園1名、多摩川保育園2名、駒井町みんなの家5名、木下の保育園岩戸北1名

回答数	項目
23	当該保育施設の立地が、自宅から駅までの通勤経路と合わなかったため
11	当該保育施設の保育の内容等が、希望するものではなかったため
3	5歳児クラスまで運営する施設ではなかったため（地域型保育事業だったため）
10	自分の子どもの歳児クラスには空きがなかったため
2	その他（通知を確認することができなかった）

※複数回答あり

設問5（ご質問やご意見）

- ベビーシッター利用支援制度を5月より使わせていただきますが、狛江市ということと私の仕事が朝早いめ見つけるのにととも苦勞し、やむを得ず時短勤務での職場復歸となつてしまいました。保育園もフルタイムで働けるように探したところあまり候補がありませんでした。市役所の方たちにはいろいろ相談に乗っていただきとても感謝しておりますが、保育園に入ることができる人数などもう少し増えるとありがたいです。
- 多摩川保育園は狛江市の保育園なのに調布市民も受け入れており、逆に調布市の保育園で狛江市民が入れる保育園がないのは不公平ではないでしょうか？もしくは狛江市民を優先すべきではないでしょうか？
- 5月以降も毎月入園可否の連絡はいただけるのでしょうか？希望園で2人同園にいれられたらすぐにでも入園したいと思っております。
- 認可の枠があれば入りたいです。
- 年度途中入園となった場合、決定の連絡日及び連絡方法、入園日について知りたいです。
- 質問は特にありません。ただただ困つてます。今決まった勤務先方面にある認可外保育園は、満員電車で連れて行かねばならず、さらに受け入れが2歳までです。それまでに狛江市内の保育園が決まればいいのですが。

【回答】

狛江市では、待機児童解消の早期実現に向け、保育需要数の推計と今後の保育施設整備等について検討を行い、「待機児童対策検討報告書～保育園編～（第8版）」を策定し、対策を講じております。

しかし、今年度の入所希望者の一部は入所保留となっている状況であり、待機児童数ゼロには至っておりません。一方で、入所選考の結果、一部の保育園ではクラスに空きが生じております。

利用定員は、育成室の面積基準や保育士の配置基準等に基づき、歳児ごとに認可定員の範囲内で定められており、見直しについては、中長期的観点から慎重に検討する必要があります。

人口推計では、子どもの数は今後も減少する見込みとなっており、それに伴い入所申込者数も減少傾向にあります。今後につきましては、引き続き認可保育園の弾力的な受け入れを行うとともに、補助制度についても認証保育所負担軽減補助金及びベビーシッター利用支援事業、幼児教育・保育の無償化等を継続して実施してまいります。また、今年度の待機児童数の状況を見ながら、今後の中長期的な対策について検討を進めてまいります。

待機となられている方は、当該年度の最終選考（令和7年3月1日付け）まで毎月1日入園に向けた利用調整会議において選考の対象としており、入園が決定した方に連絡しております。空き状況については、毎月公開しており、希望園の変更等も受け付けております。詳細については、「入園のしおり」をご覧ください。

多摩川保育園については、運営に関する費用を狛江市と調布市それぞれで負担しており、入園枠についても各市で設けております。何卒ご理解頂きますようお願いいたします。

いただいたご意見につきましては、新年度の入所申請受付に向けた検討事項とさせていただきます。